

ECプラットフォームサービス

# オムニチャネルOMS

## 「在庫確認」「出荷」等に特化したモジュールで クラウド型ECプラットフォームのバックエンドを補完

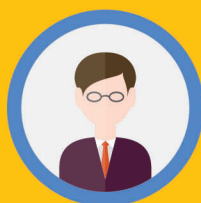
企業のEC基盤は、クラウド型ECプラットフォーム(Salesforce Commerce Cloud 等)をフロントとして、  
基盤全体を自由度の高いモジュール構成に再構築する動きが活発化しています。

「ECプラットフォームサービス オムニチャネルOMS」はクラウド型ECプラットフォームと連動して、  
バックエンド(在庫確認・出荷等)機能をワンストップ提供します。



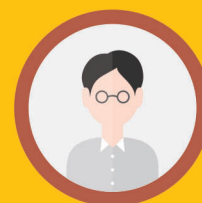
### 経営者

硬直化したEC基盤をフロントとバックエンドに切り分けて、市場変化に即応できる柔軟性・拡張性を向上させたい。



### EC・店舗担当者

ECで発生した購買データ及びその周辺データを顧客分析に活用したいEC基盤をクラウドS型のモジュール構成に再構築して、最新のMAや分析ツール等のAPIを組み込む自由度を高めたい。



### 情報システム部

ECプラットフォームへの移行にあたって、ECのバックエンド領域を担う機能を補完する必要がある。



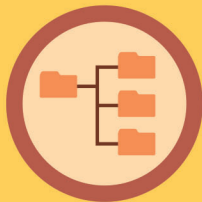
1



クラウド型ECプラットフォームのバックエンド機能を補完

オンプレミスの個別開発を行うことなく、受注・在庫確認・出荷などのバックエンド機能を実現します。過去のECサイト構築ノウハウをベースにEC業者が必要とされるOMSの全体アーキテクチャをTISが構想、必須機能を定義し、個社毎に変動する業務や連携先を業種業態に合わせてカスタマイズしAPIベースで他システムとの連携を想定しクラウドベースで提供します。

2



オーダー集中時でも高速処理できる可用性

大量のトランザクション処理に対応可能なアーキテクチャを採用することで、大規模ECサイトのバックエンド作業もスムーズに処理できます。

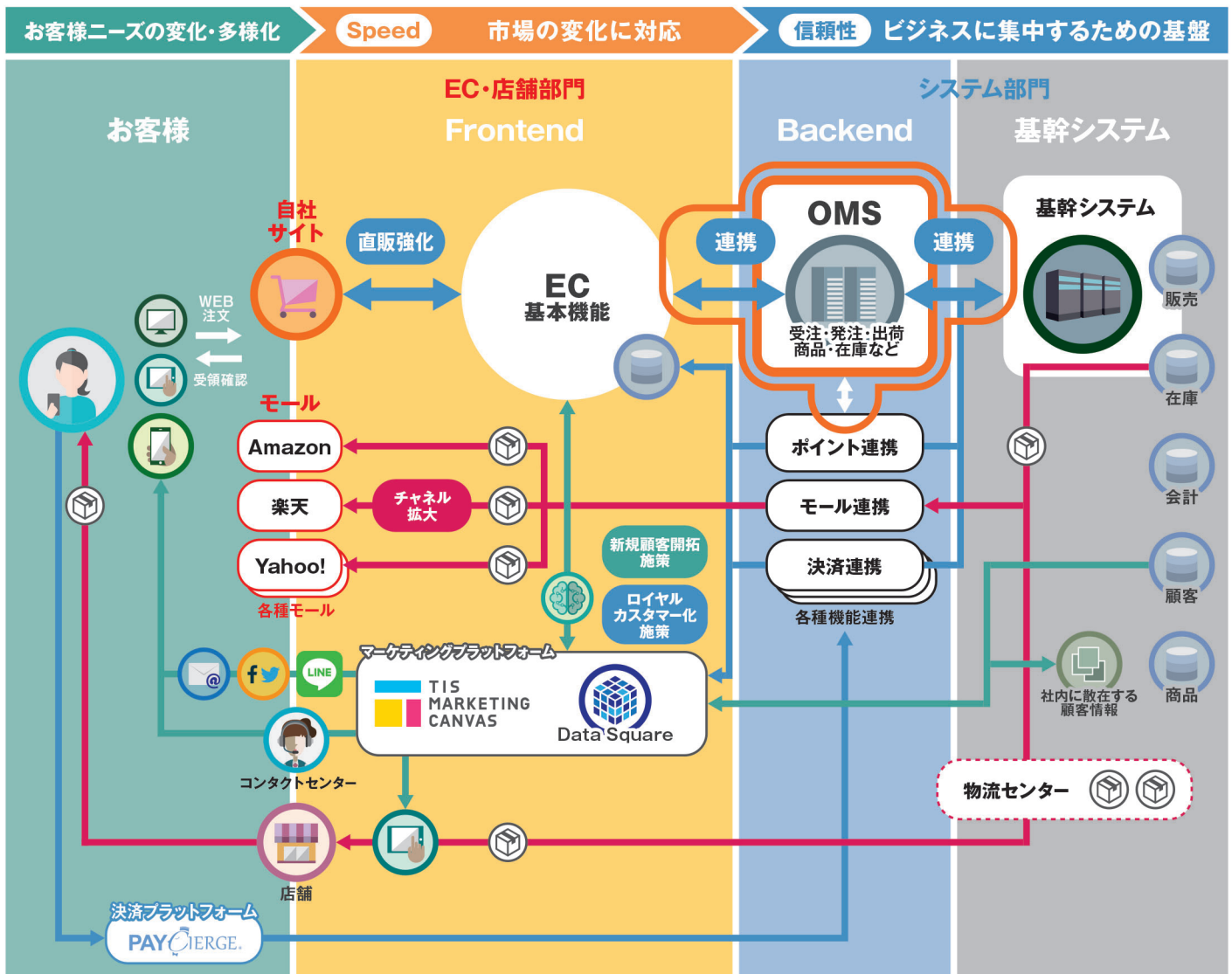
3



EC/リアル店舗の在庫確認を一元化して欠品リスクを回避

在庫管理の基幹システムと連携させることで、EC/リアル店舗を問わず同一の在庫情報を参照し、受注時の欠品リスクを防ぐことができます。

「オムニチャネルOMS」を中心とした統合ECプラットフォームの全体像



SaaS型ECプラットフォームと「ECプラットフォームサービス-オムニチャネルOMS」を組み合わせたEC基盤へ移行することで、柔軟性・拡張性が向上し、最新のデジタルマーケティングツールを迅速に採用できます。